

科目名	教育内容論	科目ナンバー	LA-TT0101-SWTt			
担当者 (実務経験名)	教授 佐長 健司					
履修期	1年 後期	卒業単位				
免許・資格	中学校教諭二種(国語・音楽)必修、栄養教諭二種必修、司書教諭必修、学校司書資格必修、音楽療法士(2種)必修					
授業概要	学校教育において、何を教えるかという教育内容について考察する。教育内容とは何かと問い、異なる立場が求めるそれぞれの教育					
到達目標	知識・理解	教育内容に関する、一般化された知識と理解を獲得できる。				
	思考・判断	異なる教育内容を比較し、差異について思考と判断ができる。				
	興味・意欲・態度	教育内容とは何か、と本質を問い続けようとする。				
	技能・表現	望ましいと考える教育内容について主張できる。				
授業計画	授業内容		事前事後学習内容		時間 (時間/週)	
	1	オリエンテーション—講義の目的と概要—	シラバスを読み、見直しをもつ。		4	
	2	戦前の学校における教育内容 —イデオロギーの教育—	「教育勅語」について調べる。		4	
	3	戦後の新教育における教育内容 —個性的な学習内容—	「新教育」について調べる。		4	
	4	教育の現代化における教育内容 —教育内容の科学化—	「教育の現代化」について調べる。		4	
	5	「生きる力」とコンピテンシー —21世紀型の国際的な学力—	「生きる力」についての情報収集(ICT)。		4	
	6	達成目標を明確にした到達度評価 —形成的評価—	「形成評価」についての情報収集(ICT)。		4	
	7	真性の評価論 —標準テストを超えて—	「真正の評価」についての情報収集(ICT)。		4	
	8	総括とレポート作成の準備	レポートの構成メモ作成する。		4	
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
	15					
成績評価方法		知識・理解	思考・判断	興味・意欲・態度	技能・表現	評価割合
	筆記試験					
	レポート	○	○		○	40%
	課題					
	実技					
	受講状況・態度		○	○		20%
その他(ノート)	○		○	○	40%	
フィードバックの方法	講義の冒頭では、前回の内容を振り返るようにする。また、レポートの作成においては、各自の到達度を高めるために個別に助言を行う。					
教科書	毎回、講義資料を配付する。					
参考書	講義において紹介する。					
アクティブ・ラーニング	教師としての視点も意識しながら予習し、授業中には積極的に質問、意見を述べてほしい。					
ICT活用	予習においては、インターネット等を活用し、広く情報を収集してほしい。ただし、情報の信頼性や正確性は十分に吟味しなければならない。					
メッセージ・備考	「教育内容とは何か」と問い、その本質を考え続けてほしい。					
関連科目	他のほとんどの教職科目。					